

自然環境局野生生物課

1. 事業の概要

わが国における高病原性鳥インフルエンザの発生を受け、インフルエンザウイルスの感染経路の解明が急務となっているが、渡り鳥が、発生地域からウイルスを運搬している可能性があると考えられていることから、渡り鳥の詳細な飛来経路情報が求められている。

これまで我が国で鳥インフルエンザが発生したのは、いずれも冬期であること、また、我が国で発生した鳥インフルエンザのウイルスが中国、韓国のウイルスと系統が同じであることが判明したことから、特に中国、韓国を経由する渡り鳥について飛来経路の早急な解明への要請が強まっているところである。

このため、本事業では、中国、韓国において渡り鳥(主にカモ類)を捕獲し、人工衛星追跡用送信機を装着し、位置情報を収集することで、渡り経路の把握を行う。また、我が国で越冬しているカモ類についても送信機を装着し、渡り経路の把握を行う。

2. 事業計画

平成17～19年度

衛星追跡による渡り経路の把握

平成20～22年度

衛星追跡による渡り経路の把握(中国・韓国からの飛来経路の重点的解明)

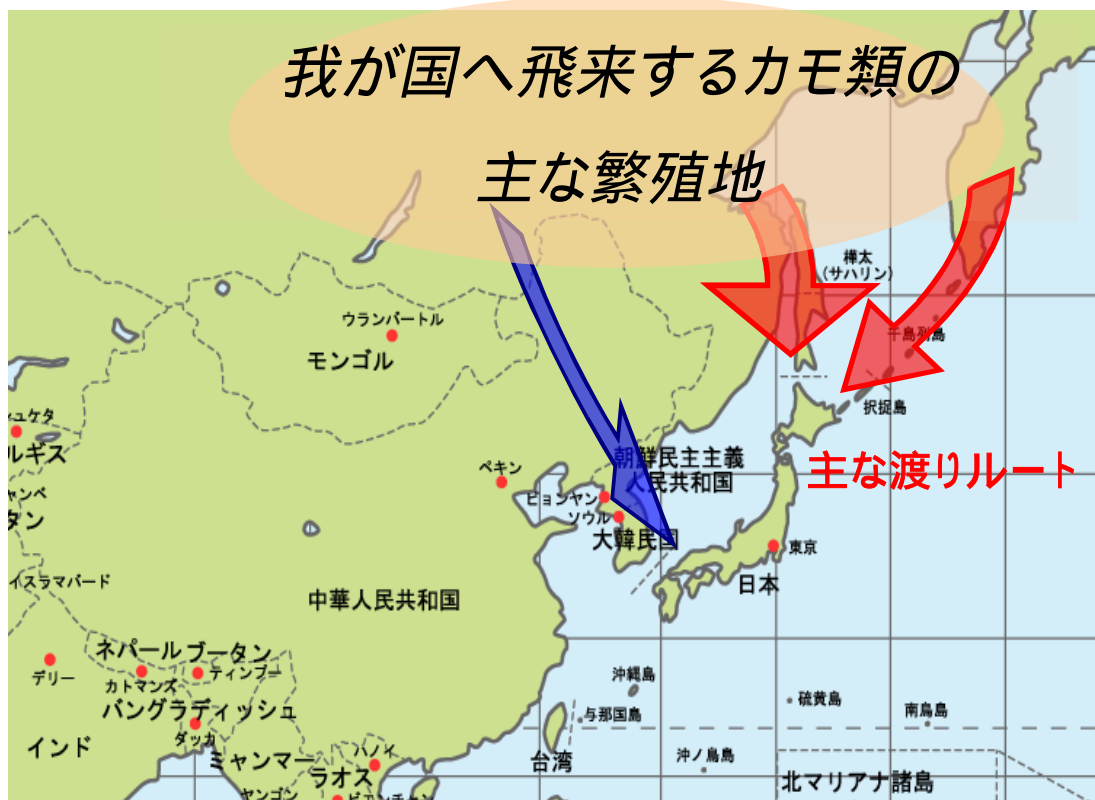
3. 施策の効果

我が国への渡り鳥の飛来経路について、特に中国・韓国からの飛来経路を中心に公表し、現在強く求められている、高病原性鳥インフルエンザの感染経路の解明及び同感染症への対策の検討に資する。

4. 備考

調査費 衛星追跡による渡り経路の把握 24,629千円

渡り鳥の飛来経路解明事業



高病原性
鳥インフルエンザの発生

我が国に飛来する渡り鳥の
飛来経路の解明への強い要請

我が国で発生した鳥インフルエンザ
ウイルスは、中国・韓国で発生した
ウイルスの系統と同じことが判明

人工衛星追跡により、中国・韓国を經由する
渡り鳥の飛来経路を重点的に解明



～ 高病原性鳥インフルエンザウイルスの感染経路解明に寄与～

人工衛星による鳥類の移動追跡の仕組み